

心臓血管外科【Stage1】

1. 実習の基本方針（目的・到達目標）

手術を必要とする循環器疾患の基本的病態を理解し、実際の症例で患者さんの身体および検査所見、社会的背景から総合的に病状を把握した上でその患者さんに実施可能な心臓血管外科治療法を挙げるができるようになる。

2. 実習の方法（内容・行動指針）

2 グループに分かれてその1グループが一週間一症例を担当して、主治医、指導医とともに術前情報を収集し、患者さんの置かれた状況で最良の治療方針を決定する。それを実際のカンファレンス(通常木曜日朝)で提示する。もう1グループはその週の火曜日は大分岡病院で手術見学実習をおこなう（実習始まりの月曜日が祭日に当たる場合は、前の週に学務課あるいは心臓血管外科医局まで手術予定の確認をしてください）。また金曜日の午後は2グループに分かれて週交代で山内循環器クリニックにて静脈疾患の手術見学実習をおこなう。手術日には、指導医の指導下に行き手術に立ち会い、集中管理室への移動をともにいき術後管理まで経験する。

3. 実習上の注意事項

- ・ 予め循環器一般の知識を整理し、心臓血管外科手術の基礎知識を身につけて実習に臨む。積極的に実習を行うよう心がけること。
- ・ 患者さんに接する場合、必ず指導医の紹介と許可を得たうえで礼儀正しく真摯な態度で臨む。
- ・ 実習中、特に手術室では実習内容のお互いの討論と質問は良いですが、私語は慎むこと。疑問点はまとめて必ず指導医に質問して解決してください。
- ・ 清潔不潔の区別は厳密におこない、手術清潔野にはむやみに近づかないこと。

4. 「医学生の実習における医行為と水準」の例示

1) レベルⅠ：指導医の指導・監視の下で実施されるべき

心臓超音波検査（経胸壁）、心電図検査、患者さんへの問診、聴打診、触診、清潔操作、手洗い、ガウンテクニック、創消毒、電氣的除細動

2) レベルⅡ：指導医の実施の介助・見学が推奨される

皮膚縫合および糸結び、動脈血採血、末梢静脈ルート確保、心臓超音波検査（経食道）、ドレーン抜去介助、患者さんへの病状説明、術前説明、心臓血管手術手技、中心静脈ルート確保

5. 実習時間外見学

心臓血管外科の緊急手術を要する症例(急性大動脈解離、動脈瘤破裂、急性動脈閉塞症など)は、多くは時間外(休日や時間外)に搬入されます。循環器外科疾患のダイナミックな真の救急治療は手術室で行われます。見学実習が可能ですので、希望者は教育医長か医局長までご連絡下さい。緊急手術の時には一報を入れます。ただし、必修課程時間ではなく、あくまで自由時間を自己判断で手術室にて過ごしたという形になります。手術は時に深夜を超え、朝までも継続することがありますが、退室はいつでも可能です。心臓血管外科医の真髄に触れることができるでしょう。

週間スケジュール

毎朝の集合場所は7:30に3階新病棟の心臓血管外科カンファレンスルーム

B班第1週, A班第2週 火曜日と金曜日にそれぞれ大分岡病院(8:45から終日)と

山内循環器クリニック(13時30分から17時まで)で研修。

	担当教員	午前	午後
月	首藤敬史 指導医・病棟医	7:30 カンファ、自己紹介 9:00 オリエンテーション 症例割り当て 9:30 手術実習	12:00~13:00 交代で食事 13:00~17:00 手術実習 15:00~症例準備(その週に 発表担当のグループ)
火	河島毅之 和田健史 指導医・病棟医	7:30 入院患者症例検討 9:00 教授病棟回診 10:00 大学院実験に参加 レクチャー(和田助教)	13:00~17:00 実験参加 15:00~症例準備(その週に 発表担当のグループ) レクチャー(河島講師)
水	首藤敬史 指導医・病棟医	7:30 術前症例検討(心臓) 9:30 手術実習	12:00~13:00 交代で食事 13:00~17:00 手術実習 15:00~症例準備(その週に 発表担当のグループ)
木	首藤敬史 田島隆弘 指導医・病棟医	7:30 術前症例検討(血管) 9:00 学生担当症例発表	13:00~手術実習 レクチャー(首藤准教授)
金	宮本伸二 首藤敬史 指導医・病棟医	7:30 術後症例検討 9:00 週間総括(宮本教授) 10:00 手術実習	12:00~13:00 交代で食事 13:00 手術実習 レクチャー(学外岩田講師)

*院外実習中止の場合があり、その場合は、事前連絡します。

2学年が同時に実習に来る場合は、上記日程に変更がある場合があります。